

公表

2025年度事業所における自己評価結果

事業所名 放課後等デイサービス マルタねんりん堂

公表日 2026年 3月 20日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	限られたスペースの中で、クールダウンや発熱、嘔吐などの症状が出た児童の過ごす場所を確保できるようにしている。	激しいパニックを起こした児童などが落ちつくまで過ごせる場所が、現状のスペースだと難しい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	限られた職員の数で、安全にかつ、児童が満足いく支援ができるようにプログラムを日々工夫している。	学校がそれぞれ離れて違う中で、下校時刻も重なることが多く、絶対に送迎に出れる職員の人数が不足している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	限られたスペースの中で、児童が安全に身体を動かせるように遊具などの環境設定をしている。	体格が違う児童同士、身体を動かしたい児童とゆっくり過ごしたい児童などそれぞれの希望にそって過ごせる環境設定を検討していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	日々の児童の様子をよく見て、成長や課題を考え、活動プログラムを計画している。	勤務時間などの違う職員間で、円滑な情報共有ができるように検討していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	連絡・相談・報告ファイルを用意し、職員間の意見交流を通して、業務改善につなげられる様にしている。	主観と客観をきちんと分けながら、職員の意見を児童のよい支援につながるようになっている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	ブログやホームページ、会計士など外部評価を行える機会を設けている。	外部への発信の機会を出来るだけ、増やせる工夫を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	限られた時間の中で、職員間で連携に問題が起きないように情報交換ができるようにしている。	職員間で支援に対する意見を聞く機会を設けながら、統一した支援を行えるように目的を明確にできるようにしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5	保護者からの引継ぎで様子を伺う機会はあるが、事業所間での交流はない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	保護者や学校に対して施設での過ごしている内容や支援計画は報告しているが、事業所間での交流はない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	保護者の希望や子どもの状態や不安などを考慮し、地域住民を招いての行事などは実施していない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6	横浜市内や港北区の自立支援協議会の情報を積極的に集めるようにしている。	開催時間が平日の午後（児童の利用時間）となるため、参加が現状は難しい。職員体制を工夫して、今後、参加できるように検討していきたい。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	ご利用されている保護者が望まれていない意見が多く、実施していない。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	6	保護者会などの開催は、ご利用されている保護者が望まれていない意見が多く、実施していない。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	プライバシーやそれぞれの家庭の事情を考え、ホームページやSNS等の活用を調整している。	希望する家庭とそうではない家庭の意見を踏まえながら、通信等の発信の仕方を検討していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	保護者の希望や子どもの状態や不安などを考慮し、地域住民を招いての行事などは実施していない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			

公表

2025年度保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス マルタねんりん堂

公表日 2026年3月20日

利用児童数

26名

作成日 2026/3/11

回収数17枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	2	1	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1	0	1		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	4	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	7	6	交流を望まれていない意見が多く見られた。	交流を望まれていない家庭が多いため、今後も行っていかない。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2	7	2	必要があれば参加するが、現状は求めている。そうした機会は希望していない。	希望されていない家庭が多いため、今後も行う予定はない。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1	1	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	7	6	必要があれば参加するが、現状は求めている。そうした機会は希望していない。	希望されていない家庭が多いため、今後も行う予定はない。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	2	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	2	1	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	2	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1	1	2	引き渡しの際に、車内の子ども様子が少し心配な時があるので、早めに降りてほしい。	保護者に引継ぎをする際にも、車内の子ども様子を確認できるように行っていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	2	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	1	0	0	毎回、通所することをとても楽しみにしている。	楽しく通われている児童が多く、引き続き、それぞれの児童に合った支援を行えるようにしていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0		

公表

2025年度事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス マルタねんりん堂		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 21日		2026年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 21日		2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動会シーズンに「ソーラン節」などの学校で行っているダンスを取り入れたり、節分に豆まきを行ったり、クリスマスにサンタからのプレゼントを行うなど、季節に合わせた催しや学校行事に合わせた取り組みが可能なこと。	子ども達が、家庭や学校で興味を持ったダンスなどを踊れる機会を設けている。外出先や活動、ダンス曲などをアンケートやサイコロなどを使いながら、子ども達自身が主体的に決められるようにしている。	連絡帳や送迎時の申し送り、電話など、保護者や子ども達からの要望を聞く機会を増やして、全体が楽しめるプログラムを行っている。
2	参加している児童の体力や課題に合わせたプログラムを実施している。	年齢や体格、その日の調子、障害状況などを見て、同じプログラムでも参加できる形を工夫できるように努めている。	曜日ごと、個人ごとにあったプログラムを行えるようにしていく。
3	集団で過ごすことにまだ課題がある児童に対して、個別や少人数で対応したり、コミュニケーションに課題のある児童に対して、段階的に集団の中でルールや相手との関わり方を身につけられるようにするなど、それぞれの児童にあった過ごし方を提供できていること。	職員体制や安全性、児童の課題や関係性を見て、可能な範囲でそれぞれの児童にあった支援を提供できるように努めている。	活動や外出先、ダンスの曲、フリータイムでの過ごし方など、児童の様子をよく見て、プログラムを充実できるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害時のご家庭への連絡方法や避難場所などの分かりやすく伝えられていない点。	災害時のご家庭への連絡方法や避難場所などの分かりやすく伝えられていない点。	災害時のご家庭への連絡方法や避難場所などのプログラムや実施内容を連絡帳や帰りの送迎時に口頭などで保護者に伝えるなど、情報開示を改善していく。
2	子どもが個別で落ち着ける部屋や空間が確保できていない。	主に活動で使用しているスペースが1フロアの為、スムーズに子どもが個別の部屋に移動することが難しい。	落ち着いて移動が可能な際は、2階の職員休憩室を使用し、一時的なクールダウンスペースとして階段下スペースや仕切りを使用して対応していく。
3	勤務時間が異なる職員との情報の共有が十分にはできていない。	児童の迎えと出勤時間が重なるなど、勤務時間が異なる職員間で口頭でのやり取りに限界がある。	連絡事項を閲覧できるファイルを用意しながら、スムーズに情報の共有ができる形をとっていく。